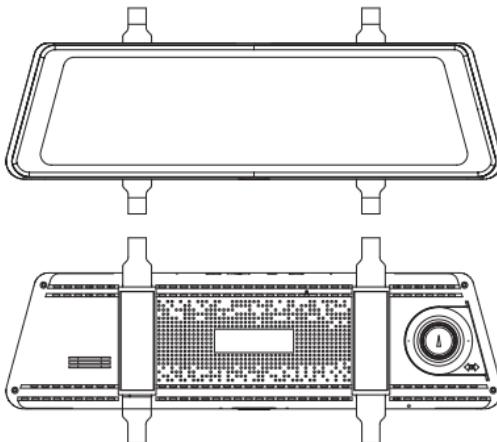


azur

スマートルームミラー(ドライブレコーダー機能搭載) **SRM-01**

取扱説明書



保証書別添付

この度は、スマートルームミラー(ドライブレコーダー機能搭載)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受取りください。

目次

はじめに

■安全上のご注意（必ずお守りください）	1
■使用上のご注意（必ずお守りください）	4
■商品構成一覧表	5
■各部の名称と働き	7

準備

■取り付けについて	9
■microSDカードについて	13
■電源オン/オフについて	16

操作方法

■録画について	17
■動画記録モード	19
■再生モード	21
■走行モード	24
■車線逸脱防止支援システムについて	25
■駐車監視録画について	26
■設定メニュー画面	28
■PCビューウィーについて	31

その他

■最大録画可能時間について	36
■トラブルシューティング	37
■その他	39
■仕様	40

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。

交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしていけない事項
	強制	必ず守るべき事項

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する、また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。
(ヒューズ:2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には設定に取り付けない

運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やケガの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作しない、また画像・表示を注視しない

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け、配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる。

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように配線する

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12/24Vマイナスアース車で使用する

- DC12/24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまましない

- 煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店でご相談ください。

分解や改造はしない

- 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
- 内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- 小部品を誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

- 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う

- 取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事項の原因になります。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子●を外しておく

- バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

機器の通風孔を塞がない

- 機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- 配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車載用以外には使用しない

 車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない

 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードがかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

 ショートや断線により、発煙、発火や故障の原因になります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器がずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けしない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると、内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない

 雨や洗車などで水がかかつたり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けしない

 強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

 雷が鳴りだしたら、シガーアダプターに触れないでください。感電の原因になることがあります。

液晶画面に表示される映像とミラー表示は異なります

 液晶画面に表示される映像と鏡面ミラーに映る範囲は異なりますので、あらかじめ違いを確認してください。

システムには限界があります

 本製品のカメラ機能は死角を完全にバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

使用上のご注意（必ずお守りください）

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

⚠ 注意

取り付け中はエンジンを切る

⚠ 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがオンの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

⚠ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります

⚠ ブルーレンズ入出時、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜など光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラス、リアガラスと本機のレンズの表面をきれいにする

⚠ 車のフロントガラス、リアガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できないことがあります。

信号機の色を認識できないことがあります

⚠ LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

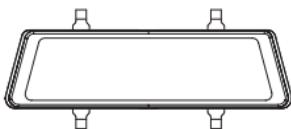
microSDカードの保存容量超えに注意

⚠ 緊急録画で記録された動画は上書きされません。ファイルが増えると、microSDカードの保存容量を超え、録画ができなくなったり、緊急録画できなくなる可能性があります。必要に応じてファイルを削除してください。

商品構成一覧表

設置および接続する前に、必ず以下の同梱物を確認してください。

■ 本体



■ リアカメラ



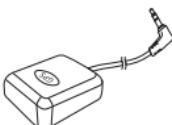
■ リアカメラ接続ケーブル(約6m)



■ シガーアダプター



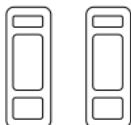
■ GPSユニット



■ GPSユニット固定用鉄プレート



■ 固定用バンド



■ microSDカード16GB(本体挿入済み)



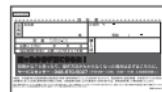
■ クリーナー



■ 取扱説明書



■ 保証書



商品構成一覧表（つづき）

⚠ 使用上のご注意

シガーアダプターについて

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

本機の日付と時刻について

- 本機の日付と時刻は「GPS時間校正」がオンの場合、GPSを受信すると自動で設定されます。本機の日付と時刻は動画ファイルに記録されます。

※GPS日時同期設定についてはP28～30「設定メニュー画面」をご参照ください。

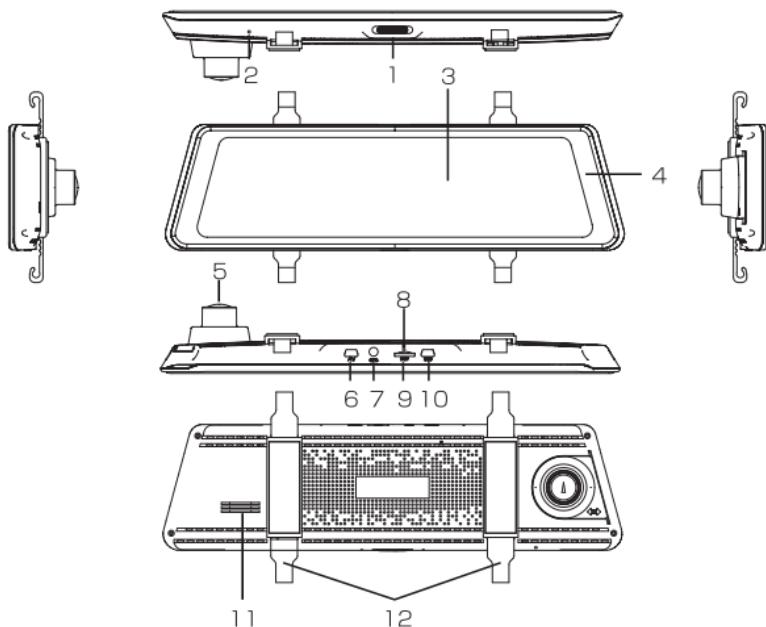
※GPSを受信できない環境に長時間保管された場合、時刻にずれが生じることがあります。

GPSについて

- GPSとは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
 - トンネル内やビル群、山間部等では、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。また、衛星の受信状態などにより、約50m～100m程度の測定誤差が出る場合があります。
 - 速度情報は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が生じる場合があります。また、停車中状態であっても、速度表示が「0km/h」にならない場合がありますが、これはGPS受信の誤差によるものであり、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
 - GPSユニットに塗装やシール貼付等しないでください。GPS性能が落ち、十分な性能を発揮しなくなります。
 - 車両のフロントウィンドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS受信に影響が出る可能性があります。
 - 車両のフロントウィンドウガラスに特殊加工が施されている場合は、GPSが受信できない可能性があります。
 - GPSユニットは各車載機器（※1）および各アンテナ（※2）からなるべく離した位置に設置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。そのような場合、各車載器から離して、GPS衛星の受信に影響のない場所へ設置してください。
- ※1 ナビゲーション本体、ETC車載器、地デジチューナー、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機など
- ※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど

各部の名称と働き

<本体>



<リアカメラ>



①電源ボタン／モードボタン

短押し（電源オン時）・・・カメラ画面／走行モード／液晶オフの順番に切り替わります。

約5秒間長押し（電源オン時）・・・本機の電源がオフになります。

短押し（電源オフ時）・・・本機の電源がオンになります。

②マイク

周囲の音声を録音します。

③液晶モニター

⚠ 注意

液晶モニターでリアカメラ映像を確認する時、ルームミラーでの見え方と実際に目視で見た場合とでは、距離感等が異なりますので、ご注意ください。

※後退する際は、必ず目視による安全確認を行いながら後退するようにしてください

各部の名称と働き（つづき）

④ルームミラー

この部分には画面は表示されません。
※タッチしても液晶画面は反応しません

⑤カメラレンズ

 **注意**
工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

⑥リアカメラ接続 miniUSB ポート

付属のリアカメラ接続ケーブルを使用して、本体とリアカメラを接続します。

⑦GPSユニット接続ポート

付属のGPSユニットを接続します。

⑧リセットスイッチ

リセットスイッチを押すと、本機が再起動します。

 **注意**
本機が正しく動作しなくなった時に押してください。

⑨microSDカードスロット

microSDカードを挿入します。

⑩電源ケーブル接続miniUSBポート

付属のシガーアダプターを接続します。

 **注意**
本機付属のシガーアダプター以外は絶対に接続しないでください。
正常に動作しなくなったり、故障する可能性があります。

⑪スピーカー

操作音やファイル再生時にファイルに録音された音声が出力されます。

⑫取付固定具

純正ルームミラーに取り付ける際に使用します。

⑬ microUSBポート

付属のリアカメラ接続ケーブルを使用して、本体とリアカメラを接続します。

 **注意**
リアカメラ側はmicroUSBになり、本体側はminiUSBになります。

⑭ダミーランプ

 **注意**
装飾用のダミーランプであり、点灯（点滅）など機能はしません。

取り付けについて

固定用バンドを使って、車の純正ルームミラーに本機を取り付けます。

取り付けのご注意：

本機を車に取り付ける前に、次の内容をご確認の上、取り付けてください。

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ミラー面には衝撃を与えないでください。破損だけがの原因になります。
- 同梱品のシガーアダプター以外のものを使用しないでください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに、鮮明に記録できます。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

取り付けかた(参考)

<取付方法>

1. 固定用バンドを取付固定具の上側に引っ掛けます。 (図1)
2. 純正ルームミラーを挟み込んで、固定用バンドを取付固定具の下側に引っ掛けます。 (図2)
※取り付けの際、本機をしっかりと支えながら取り付けてください。
3. もう一つの固定用バンドも同じ方法で取り付けて、本体の位置を調整します。
※取り付けの際、本機をしっかりと支えながら取り付けてください。
4. 純正ルームミラーの状況によって、レンズの位置を左右に調整します。 (図3)
5. 本機が確実に装着されていることを確認のうえ、使用してください。 (図4)

取り付けについて（つづき）

図1

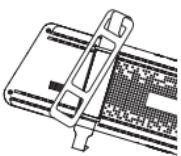


図2

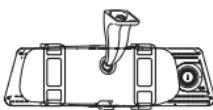
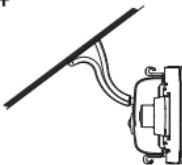


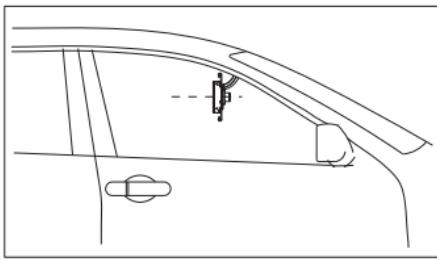
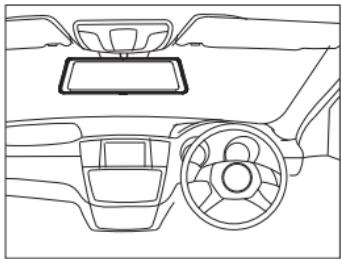
図3



図4



取り付けイメージ

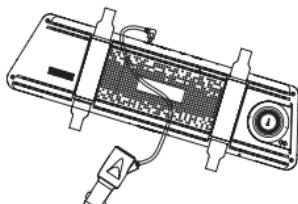
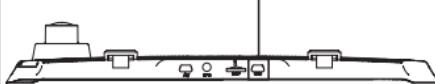


- 車両進行方向にカメラを向けて取り付けてください。
- 本体が水平を維持するように取り付けてください。水平が維持できないと、正しい状態で録画できません。
- 本機のミラーで後方がしっかりと見えることを確認してください。事故などの原因になります。
- 前方の視界を遮ることがないように取り付けてください。

取り付けについて（つづき）

電源ケーブルの接続

電源ケーブル接続miniUSBポート



車両のシガーソケットへ接続

- エンジンがオフになっていることを確認してから、同梱のシガーアダプターを車両のシガーソケットと、本体の電源ケーブル接続miniUSBポートにそれぞれ接続します。

ご注意

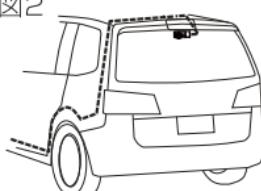
- シガーアダプターは必ず付属品をお使いください。付属品以外のシガーアダプターを使用した場合、本製品もしくは車両が破損する場合があります。
- シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままシガーアダプターを接続すると先端が溶断・ショートする可能性がありますので、しばらく時間をおいて熱が冷めた状態でシガーアダプターを接続してください。
- 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください。
- 長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

リアカメラの取り付けと配線

図1



図2



*左図イラストでは、車内下側を配線していますが、車種によっては、リアカメラケーブルの取り回しにより、車内上部(ルーフ、内張内等)を通す必要があります。

取り付けについて（つづき）

1.

[図1]リアカメラレンズの角度を調整後、貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後に、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます。

※必ず実際の映像を確認してから、後部ガラスに貼り付けてください。

2.

[図2]バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線をおこなってください。

※リアカメラおよびケーブルが損傷すると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損の原因になります。

リアカメラの接続

図1

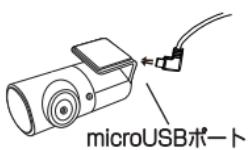


図2



1.

[図1]付属のリアカメラ接続ケーブルをリアカメラのmicroUSBポートに接続します。

2.

[図2]付属のリアカメラ接続ケーブルを本機のリアカメラ接続miniUSBポートに接続します。

※リアカメラ接続ケーブルの警告シールを確認し、正しく接続してください。

ご注意

- 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することができないようにケーブルを配線してください。
- すべての付属品を接続してから、電源を入れてください。
通電して、本体が電源オンの状態で、付属品を接続すると、誤動作したり、故障する原因になるため、おやめてください。
- リアカメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまになっていないことを確認してから、取り付けてください。
- 取り付け位置によって、後方車両のヘッドライトや太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。
- 高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。
また、ETCアンテナ等から50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。

microSDカードについて

ご注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- 本体の電源が入った状態で、microSDカードの抜き差しをしないでください。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガーアダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 本体の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- 本機は、8GB～128GB Class10 -UHS-IIのmicroSDカードに対応しています。ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- UHS-I規格の製品は、Class10互換を諂っていても動作しない場合があります。また、UHS-IIIの製品は対応していませんので、市販のmicroSDカードのご購入に際しては互換性にご注意ください。
- microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- microSDカードの定期的なフォーマットをおすすめします。フォーマットしないと、正しく録画ができない場合があります。※推奨1ヶ月

microSDカードの挿入と取り出し

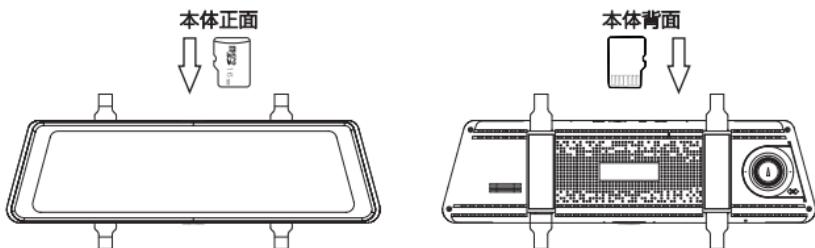
1. microSDカードを挿入/取り出しそる前に、必ず本機の電源がオフになっていることを確認してください。

⚠ 注意

- ・本機が動作中（録画停止中も含む）、microSDカードの挿入・取り外しをすると、データの破損および本機の故障の原因になる恐れがありますので、必ず、電源がオフになっていることを確認した上、microSDカードの挿入・取り外しを行なってください。
- ・本機が動作中（録画停止中も含む）、microSDカードの取り外しを行うと本機が再起動します。

microSDカードについて（つづき）

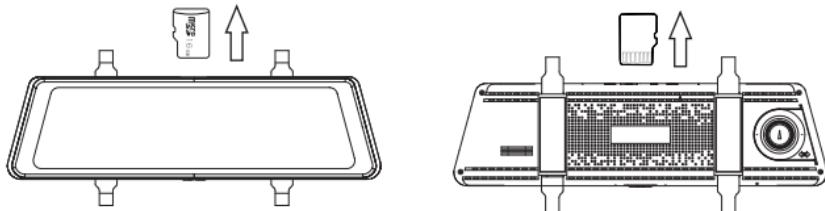
2. microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。



3. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

4. microSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜きます。



⚠ 注意

- ・ microSDカードを取り出す前に、必ず本体の電源をオフにしてください
- ・ microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください
- ・ 事故発生時は、記録された映像データが破損しないよう、必ず本体の電源をオフにしてからmicroSDカードを抜いて、保管してください

microSDカードのフォーマット

microSDカードをフォーマットするには下記の手順が必要です。

※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください。

1. 同梱されているmicroSDカードが挿入されていることを確認してください。

2. 車のエンジンをオン（ACC ON）もしくは、本機の電源ボタンを操作して、本体を起動します。

※電源オンについてはP16「電源オン／オフについて」を参照してください。

microSDカードについて（つづき）



3.設定メニューを表示します。

「」録画アイコンをタッチして録画を停止し、
「」設定アイコンをタッチすると設定メニュー
画面が表示されます。



4.フォーマットを実行します。

「メモリーカード」をタッチして、SDカード容量画面を表示します。「フォーマット」ボタンをタッチすると、SDカード初期化の確認画面に入ります。「フォーマット」を選択すると、SDカードをフォーマットします。



5.フォーマット完了後は右の画面が表示されます。



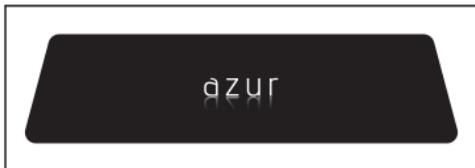
ご注意

初めて本機を使用する場合、ご使用前にmicroSDカードのフォーマットをおこなってください。

- フォーマットの操作は、必ず本機が車両に固定され、車両が停止している状態でおこなってください。
- フォーマット中は本機の電源を切らないよう、ご注意ください。

電源オン/オフについて

電源オン



<手動操作>

- 電源オフ時に本機の電源ボタンを短押しすると電源オンになり、オープニング画面が表示されます。
※電源オン時に電源ボタンを短押しすると、液晶画面の表示切替をおこないます。

<エンジン連動>

- エンジンをかける(ACCオンする)と自動的に電源オンになり、オープニング画面が表示されます。

電源オフ



<手動操作>

- 本機の電源ボタンを約5秒間長押しすると電源オフになります。

<エンジン連動>

- エンジンを切る(ACCオフする)と自動的に電源オフになります。

ご注意

<エンジン連動ON機能について>

本製品は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、本機の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。また、充電不足もしくは長期間、本製品をご使用にならなかった場合は、通電をおこない、充電をするようお願いいたします。

<アイドリングストップ車での電源オフについて>

アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がオフになる場合があります。

その場合、本機の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。

録画について

録画の種類

●常時録画(ループ録画)

本機の設定により、1分間/2分間/3分間のループで録画します。
microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きをして録画を続けます。

1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続…
-------	-------	-------	-------	-------	-------

※重要なデータの消失を防ぐために、定期的なバックアップをおすすめします。

※常時録画(ループ録画)時間の設定方法については、P28~30「設定メニュー画面」を参照してください。

※最大録画可能時間についてはP36「最大録画可能時間について」を参照してください。

●緊急録画

(1)緊急録画とは

録画中、[]ボタンをタッチまたは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を感じると、緊急モードで録画を開始します。緊急録画中は、録画中アイコンは黄色になります。

緊急録画で保存されたファイルはロックされ、上書きされません。

(2)緊急録画形式

緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が異なります。

(例)

- ・ループ録画設定を「1分間」に設定時、動画①→②→③…と録画し続けます。
- ・動画②の時に事故が発生して、Gセンサーが衝撃を感じた場合、緊急録画が開始します。

※★は緊急録画の開始時点。

動画①

動画②

動画③

1分	10秒 ★1	40秒 ★2	10秒 ★3	1分	録画継続…
----	-----------	-----------	-----------	----	-------

事故発生

録画について（つづき）

- ★1: 動画②の最初から10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。
- ★2: 動画②の最初・最後10秒以外に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。
- ★3: 動画②の最後10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

(3)緊急録画終了時

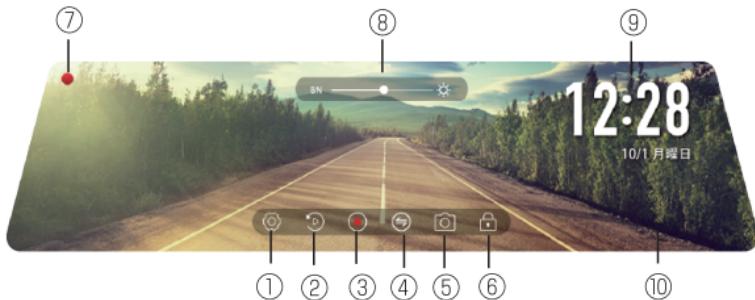
緊急録画完了後、録画中アイコンは黄色から赤色になり、常時録画(ループ録画)に戻ります。

ご注意

- Gセンサー感度が「高」に設定されている場合、衝撃が検出しやすくなります。
Gセンサー感度が「低」に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
※Gセンサー感度の設定方法については、P28～30「設定メニュー画面」を参照してください。
- Gセンサーによる衝撃検知で撮影された映像や、ファイルロックされたデータは保護ファイルとして保存され、上書きされません。
ロックされたファイルが増えると、緊急録画ファイルを保存することができなくなりますので、必要に応じてファイルを削除してください。
※ファイルの保存先や削除方法についてはP21～23「再生モード」を参照してください。

動画記録モード

動画記録モード（カメラ画面）



操作メニュー画面中、約10秒間画面操作をしないと、操作メニューは非表示となります。
操作メニューを表示させたい場合は、画面をタッチします。

①設定メニューアイコン

このアイコンをタッチすると、設定メニュー画面に入ります。

※設定メニュー画面に入るには録画を停止する必要があります。

②再生モードアイコン

このアイコンをタッチすると、再生モード画面に入ります。

※再生モード画面に入るには録画を停止する必要があります。

③録画アイコン

このアイコンをタッチすると、録画を開始／停止します。

④画面切り替えアイコン

このアイコンをタッチすると、リアカメラの画面とフロントカメラの画面を切り替えます。

※工場出荷設定：リアカメラ画面

※安全のため、フロントカメラ画面を表示させた場合、30秒経過すると、自動的にリアカメラ画面に切り替えます

⑤静止画撮影アイコン

このアイコンをタッチすると、静止画を撮影します。

※フロントとリアの映像が同時に静止画撮影を行います。

⑥ロックアイコン

このアイコンをタッチすると、録画しているファイルを手動でファイルロックします。

⑦録画中アイコン

録画中は赤いアイコンが点滅します。緊急録画中の場合、アイコンは黄色になります。

※録画が停止している場合には、アイコンは表示されません。

動画記録モード（つづき）

⑧明るさ設定アイコン

明るさ設定を「手動」に設定している場合、液晶画面を左右にフリック操作すると、画面の明るさを調整できます。また、「」ボタンをタッチして、明るさの設定を自動／手動に切り替えることができます。明るさ設定を「自動」に設定すると、周囲の明るさに応じて自動で画面の明るさを調整します。

⑨日時表示

本機の日付・時刻を表示します。

⑩画面表示の上下調整

液晶画面で上下フリックすると、表示画面のエリアを調整します。

静止画を撮影する

「」アイコンをタッチすると、フロントカメラとリアカメラの映像が同時に撮影されます。

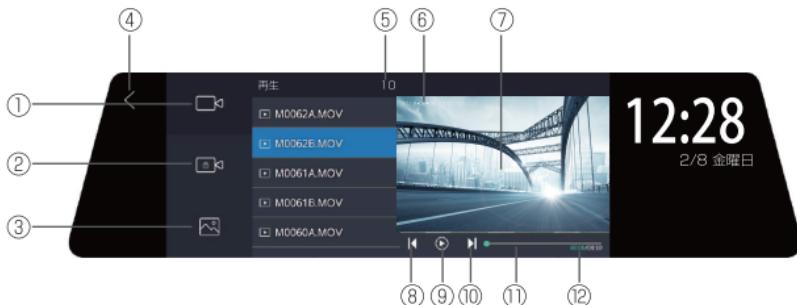
●フロントカメラの静止画解像度は「1536×864」で保存されます。

●リアカメラの静止画解像度は「1536x864」で保存されます。

●録画中に静止画を撮影しても録画は中断されません。

再生モード

録画停止状態で、「」アイコンをタッチすると、再生モードを表示します。



①常時録画

このアイコンをタッチすると、常時録画(ループ録画)のファイルを表示します。

②緊急録画

このアイコンをタッチすると、緊急録画のファイルを表示します。

③静止画

このアイコンをタッチすると、静止画のファイルを表示します。

④戻る

このアイコンをタッチすると、常時録画(ループ録画)モードに戻ります。

⑤ファイル数表示

選択されているフォルダーにあるファイルの数量を表示します。

⑥撮影日時表示

動画もしくは静止画が撮影された日付と時刻を表示します。

⑦サムネイル画面

⑧前へ

前のファイルを表示します。

⑨再生／一時停止

ファイル再生/一時停止します。

⑩次へ

次のファイルを表示します。

⑪再生バー

再生経過時間を表示します。

⑫時間表示

ファイルの経過時間／トータル時間を表示します。

再生モード（つづき）

常時録画ファイルの保護と削除

ファイル名を長押しすると、「保護」と「削除」アイコンが表示されます。



「保護」をタッチすると、右のような画面が表示されます。
「OK」をタッチすると、ファイル名を「S~.MOV」に変更し、
保護ファイルとなります。



「削除」をタッチすると、右のような画面が表示されます。
「OK」をタッチすると、ファイルが削除されます。



緊急録画ファイルのロック解除と削除

ファイル名を長押しすると、「解除」と「削除」アイコンが表示されます。



「解除」をタッチすると、右のような画面が表示されます。
「OK」をタッチすると、ファイル名を「M~.MOV」に変更し、
通常ファイルとなります。



「削除」をタッチすると、右のような画面が表示されます。
「OK」をタッチすると、ファイルが削除されます。



再生モード（つづき）

静止画ファイルの削除

ファイル名を長押しすると、「削除」アイコンが表示されます。



「削除」をタッチすると、右のような画面が表示されます。
「OK」をタッチすると、ファイルが削除されます。



ファイル表記について

●常時録画

MxxxxA.MOV A:フロントカメラで記録したファイル

MxxxxB.MOV B:リアカメラで記録したファイル

●緊急録画

SxxxxA.MOV A:フロントカメラで記録したファイル

SxxxxB.MOV B:リアカメラで記録したファイル

●動体検知録画

VxxxxA.MOV A:フロントカメラで記録したファイル

VxxxxB.MOV B:リアカメラで記録したファイル

●静止画

DxxxxA.JPG A:フロントカメラで記録したファイル

DxxxxB.JPG B:リアカメラで記録したファイル

走行モード

設定メニューの「液晶表示」を「走行モード」に設定した場合または「モードボタン」で「走行モード」を選択した場合、以下の「走行モード」画面が表示されます。



①録画中アイコン

録画中は赤いアイコンが点滅します。緊急録画中の場合、アイコンが黄色になります。

②速度表示

車両の走行速度を表示します。

※車両の速度メーター表示と異なる場合があります。

③車線表示

車線逸脱防止支援システムがオンに設定されている場合、車線を逸脱した時に赤色に表示されます。

④日時表示

本機の日付・時刻を表示します。

ご注意

- 走行位置情報や車速情報はGPSによって取得される情報です。GPS信号が受信されていない場合は表示することができません。また、表示される情報は実際の位置や速度と異なる場合があります。
- トンネル内やビル群、山間部などGPS電波を遮るような環境では受信しにくい場合があります。

車線逸脱防止支援システムについて

本機は車線逸脱防止支援システムを搭載しています。

設定メニューの「車線逸脱防止支援システム」がオンになっている場合、速度40km/h以上で走行中、車線を逸脱した時にアラーム通知をおこないます。また、走行モード画面時に車線を逸脱した場合、アラーム通知に加えて車線表示が赤色に表示されます。

ご注意

- 車線逸脱警告機能はフロントカメラ映像情報に基づき動作しますので、映像の状況により誤動作または動作しない場合があります。
- 車線の劣化や雨天や逆光などにより車線を認識出来ず、正しく動作しない場合があります。
- 車両のウィンカーと連動しませんので、通常の車線変更でもアラーム通知をおこないます。
- 路面の状態や走行状況により、機能が動作しないことや頻繁にアラーム通知がおこなわれる場合があります。
- 夜間や悪天候時には、機能が動作しないことや頻繁にアラーム通知がおこなわれる場合があります。
- 車線逸脱防止支援システムの動作はあくまで目安ですので、実際の道路状況にしたがって走行してください。
- 車線逸脱防止支援システムを使用したことによる事故等に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。

駐車監視録画について

駐車監視録画をおこなうには、設定メニューの「駐車監視」を低/高のいずれかに設定してください。

衝撃検知録画(本機内蔵バッテリーにて動作)

車両エンジンを停止(ACCオフ)すると、約5秒後に本機の電源がオフになります。本機の電源がオフになってからさらに約5秒後、衝撃検知録画スタンバイ状態になり、本機に搭載されたGセンサーが衝撃を感じると、自動的に約15秒間の緊急録画をおこない、録画終了後に再び衝撃検知録画スタンバイ状態に移行します。車両エンジンを始動(ACCオン)すると、本機の電源がオンになり、常時録画が開始されます。



ご注意

- 「駐車監視」をオフに設定すると、衝撃検知録画スタンバイ状態に移行されません。駐車監視の設定についてはP28~30「設定メニュー画面」を参照してください。
- 衝撃検知録画は本機の内蔵バッテリーによって動作します。内蔵バッテリーの状態によって衝撃検知録画が稼働できる時間は異なります。
- 衝撃検知録画で撮影された映像ファイルはロックされ、上書きされません。
- ドアを閉めたときの振動を検出して、衝撃検知録画が動作することがあります。
- 衝撃検知録画スタンバイ状態および、衝撃検知録画中は本機の液晶画面は表示されません。(液晶オフ)
- 別売の常時電源ケーブルを接続した場合、衝撃検知による駐車監視録画をおこなうことはできません。
- リアカメラによる衝撃検知の機能は働きません。

駐車監視録画について(つづき)

動体検知録画(別売の常時電源ケーブルを使用した場合のみ)

別売の常時電源ケーブルが接続されており、車両エンジンを停止(ACCオフ)しても本機に電力が供給されている状態で、約5分間本機の操作がおこなわれない場合、動体検知録画スタンバイ状態になり、移動物を検知すると、自動的に約5秒間の録画をおこない、録画終了後に再び動体検知録画スタンバイ状態に移行します。

動体検知録画中、移動物を検知し続けると、録画が続きます。1つの録画ファイル最大録画時間がループ録画に設定する時間になります。

- ①液晶画面をタッチ
- ②電源ボタンを押す
- ③Gセンサーにより連続した振動を検知
- ④GPS信号により車両速度を検知(10KM/H以上)

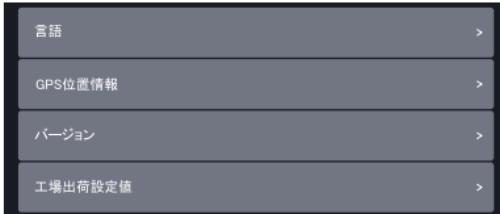
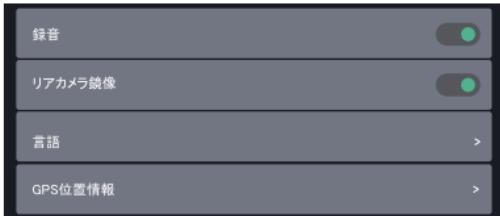
上記①～④のいずれかの条件を満たした場合、常時録画が開始されます。

ご注意

- 「駐車監視」をオフに設定すると、動体検知録画スタンバイ状態に移行されません。駐車監視の設定についてはP28～30「設定メニュー画面」を参照してください。
- 動体検知録画で撮影された映像ファイルはmicroSDカードの容量上限に達すると古いファイルから自動的に上書きされます。重要なデータの消失を防ぐために、定期的なバックアップおすすめします。
- 動体検知録画スタンバイ状態および、動体検知録画中は本機の液晶画面は表示されません。(液晶オフ)
- リアカメラによる動体検知の機能は働きません。

設定メニュー画面

録画停止状態で、「⚙️」ボタンをタッチすると、設定メニュー画面を表示します。



設定メニュー画面（つづき）

(▲) は工場出荷設定値

項目	設定内容と説明		
メモリーカード	挿入されているSDカードの空き容量と全体容量情報を表示します。		
	フォーマット	「フォーマット」ボタンをタッチすると、SDカード初期化の確認画面に入ります。確認すると、SDカードをフォーマットします。※SDカードをフォーマットする前に、重要なデータをPC等でバックアップしてください。	
車線逸脱防止支援システム	オフ (▲)	車線逸脱防止支援システムのオン／オフ設定をします。オンに設定すると、走行モードで車線を逸脱すると、車線表示が赤く表示されます。	
	オン		
スピード	mph	速度表示の単位を設定します。	
	km/h (▲)		
液晶表示(※1)	液晶オフ	液晶表示がオフになり、ルームミラーとして使用できます。 (ドライブレコーダー機能は作動します)	
	走行モード	走行モード画面が常に表示されます。 (ドライブレコーダー機能は作動します)	
	カメラ画面 (▲)	動画記録（カメラ）画面を常に表示します。	
日付/時間	GPS時間校正	オフ	GPSの日時情報を取得し、日付/時間を自動的に設定します。
		オン (▲)	オフに設定した場合、日付/時間設定を手動でおこなうことはできません。※工場出荷設定値に戻した場合でも、日付/時間はリセットされません。
	日付設定 YYYY-MM-DD	OK/キャンセル	※GPS時間校正がオフの場合のみ、手動設定できます。 【工場出荷設定 : 2019-01-01】
			画面をクリックして設定します。「OK」をタッチすると、設定を保存します。「キャンセル」をタッチすると、設定を保存せずに前の画面へ戻ります。
	時間設定 HH:MM	OK/キャンセル	※GPS時間校正がオフの場合のみ、手動設定できます。 画面をクリックして設定します。「OK」をタッチすると、設定を保存します。「キャンセル」をタッチすると、設定を保存せずに前の画面へ戻ります。
	24時間表示	オフ	時間表示を「12時間モード」で表示します。
		オン (▲)	時間表示を「24時間モード」で表示します。
録画解像度	Front1080P +Rear1080P	フロントカメラが解像度1920×1080で録画します。 リアカメラが解像度1920×1080で録画します。	
ループ録画	1分 (▲)		
	2分	常時録画(ループ録画)で記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。	
	3分		
Gセンサー	オフ	Gセンサー（衝撃検知）の感度を設定します。	
	低 (▲)	低：衝撃を検出しにくくなります。	
	高	高：衝撃を検出しやすくなります。	
駐車監視	オフ (▲)	駐車監視モードのGセンサー（衝撃検知）の感度を設定します。	
	低	低：衝撃を検出しにくくなります。	
	高	高：衝撃を検出しやすくなります。	
音量	オフ	音量を設定します。	
	小 (▲)	※【音声ガイダンス】【ファイル再生音量】【操作音】の音量が連動します。	
	大		
操作音	オフ	本機の操作音のオン／オフを設定します。	
	オン (▲)		

設定メニュー画面（つづき）

(▲) は工場出荷設定値

項目		設定内容と説明
明るさ(※2)	手動 (▲)	液晶画面の明るさを設定します。手動に設定した場合、動画記録モード画面で液晶画面を左右にフリック操作をして明るさを調整します。自動に設定した場合、周囲の明るさに応じて自動で液晶画面の明るさを調整します。
	自動	
録音	オフ	映像のみで録画します、音声は記録しません。
	オン (▲)	映像と音声を記録します。
リアカメラ鏡像	オフ	リアカメラの映像が正像で表示されます。
	オン (▲)	リアカメラの映像が鏡像で表示されます。
言語	日本語 (▲)	本機の表示言語を選択します。 ※言語を日本語以外に設定した場合、音声ガイダンスは流れません。
	English	
	簡体中文	
	繁体中文	
	한국어	
GPS位置情報	経度/緯度 スピード/方向 GPSステータス GPS受信感度	GPS情報を表示します。
バージョン	型番	本機の型番を表示します。
	バージョン	本機のバージョンを表示します。
	バッテリー	本機のバッテリー状態を表示します。
工場出荷設定値(※3)	OK/キャンセル	設定初期化の確認画面に入ります。OKをタッチすると、すべての設定を工場出荷設定値に設定します。キャンセルをタッチすると、前の画面へ戻ります。

ご注意

※1 液晶表示について

「電源/モードボタン」を押して設定メニュー内の液晶表示設定で選択された画面モード以外に切り替えた場合、30秒間何も操作が行われなかった場合は、液晶表示設定で選択された画面に自動的に戻ります。

例) 液晶表示設定で「走行モード」を選択している場合

電源/モードボタンを押して、「液晶オフ」に切り替えた後、30秒間何も操作されなかった場合、自動的に「走行モード」画面に切り替わります。

※2 明るさについて

明るさ調整が「自動」に設定した場合、明るさセンサー機能するのはフロントカメラのみになります、フロントカメラ周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを調整します。

※3 工場出荷設定値について

工場出荷設定値に戻す実行しても、本体の日付時間情報及びGPS情報はリセットされません。

※設定メニュー画面について

設定メニュー画面表示中に約30秒間操作がおこなわれない場合、設定メニュー画面は自動的にタイムアウトします。

PCビューウーについて

専用再生アプリケーションを使用すると、録画した映像をPC上で表示再生することができます。

PC動作環境

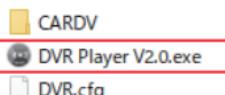
OS	WindowsXP/Windows7 /Windows 8/Windows10
CPU	Intel Core i5以降
メモリ	4GB以上
その他	インターネット接続環境が必要です。

- Macには対応していません。
- すべてのOS・パソコンについて動作を保証するものではありません。
- お使いになるパソコンの処理能力や環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

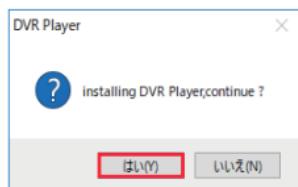
ビューウーソフトをインストールする

PCビューウーのインストールファイル「DVR Player V2.0.exe」は、本機の電源をオンになるとmicroSDカード内に自動的に生成されます。

下記の手順に従い、PCビューウーソフトのインストールをおこなってください。



1. PCIにmicroSDカードを挿入して、
「DVR Player V2.0.exe」をダブルクリック
します。



2. 「はい」をクリックします。



3. 「Next」をクリックします。

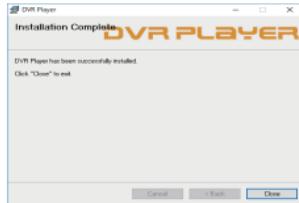
PCビューアーについて(つづき)



4.インストール先を変更する場合は「Browse」をクリックして保存先を選択し、「Next」をクリックします。



5.「Next」をクリックするとインストールが始まります。
※ユーザー アカウント制御画面が表示される場合は、確認した上でインストールをおこなってください。



6.「Close」をクリックしてインストールを終了します。
※デスクトップ上に「DVR Player」のショートカットアイコンが作成されます。

ビューアーソフトで映像ファイルを再生する

1.デスクトップ上のDVR Player  をダブルクリックしてビューアーソフトを起動します。

2.DVR Player内の  をクリックし、microSDカード内の映像ファイルをファイルリストに追加します。

※映像ファイルはmicroSDカード内の「CARDV」フォルダに保存されています。

<常時録画ファイル>

-  M0001A.MOV
-  M0001B.MOV
-  M0002A.MOV
-  M0002B.MOV

<緊急録画ファイル>

-  S0001A.MOV
-  S0001B.MOV
-  S0002A.MOV
-  S0002B.MOV

<動体検知録画ファイル>

-  V0001A.MOV
-  V0001B.MOV
-  V0002A.MOV
-  V0002B.MOV

3.ファイルリストから再生したい映像ファイルを選択し、ダブルクリックすると再生を開始します。

※ファイルの再生中は  をクリックすることはできません。

PCビューアーについて（つづき）

画面の操作



- ①映像ファイルが撮影された日付と時刻を表示します。
- ②再生画面をダブルクリックすると、全画面で再生します。
- ③動画の再生位置を表示します。再生位置に応じて、地図の位置情報を更新します。
- ④再生中のファイル名
- ⑤映像ファイルに記録されたGセンサー情報を表示します。
- ⑥再生経過時間／トータル時間
- ⑦再生操作ボタン

	停止ボタン		再生／一時停止ボタン
	前へボタン		早送りボタン
	早戻しボタン		次へボタン

PCビューワーについて（つづき）

⑧地図表示画面

映像ファイルに記録された車両の位置情報を地図画面に表示します。



- ①通常の地図画面を表示します。地図上の地形図の表示・非表示を選択できます。（工場出荷設定：非表示）
- ②衛星地図画面を表示します。地図上に表示される地名の表示・非表示を選択できます。（工場出荷設定：表示）
- ③選択中のファイルの自車位置を表示します。
- ④地図表示のスケールを拡大します。地図画面をダブルクリックすると、地図表示のスケールも拡大します。
- ⑤地図表示のスケールを縮小します。

⑨再生中の映像をキャプチャー保存することができます。

⑩再生中の映像ファイルに名前を付けて保存することができます。

⑪再生している映像ファイルの車両速度情報を表示します。

- ※録画中にトンネル等のGPS受信環境が悪い場所を走行していた場合、車両速度情報が表示されないことがあります。
- ※表示されている車両速度はあくまで目安です。実際の車両速度とは異なる場合があります。

⑫再生している映像ファイルの方位情報を表示します。

- ※録画中にトンネル等のGPS受信環境が悪い場所を走行していた場合、方位情報が表示されないことがあります。

⑬ファイルリストが表示されます。ファイルをダブルクリックすると、再生が開始されます。

⑭常時録画ファイルリストを表示します。

⑮緊急録画ファイルリストを表示します。

⑯DVR Player画面を最小化します。

⑰DVR Playerを全画面に表示します。全画面表示中に再生画面をダブルクリックすると、通常の再生画面に戻ります(この機能はファイル再生中のみ操作可能です)。

⑱DVR Playerを終了します。

PCビューワーについて（つづき）

ご注意

- パソコンのスペックにより、動作しない場合があります。
- P31「PC動作環境」に機材のあるパソコンのスペックを満たしている場合であっても、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証しておりません。
- 自作パソコン、タブレットでの動作は保証しておりません。
- パソコンでの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用頂けないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失やその他直接もしくは間接的な障害等につきまして、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店などはその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- パソコン、周辺機器環境などに関するお問い合わせは、パソコン各メーカー、周辺機器各メーカーまたは販売店にお問い合わせください。
- インターネット環境が必要となります。
- 地図表示内容は予告なく仕様変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

最大録画可能時間について

microSDカード容量	最大録画可能時間
8GB	約40分
16GB	約85分
32GB	約170分
64GB	約345分
128GB	約690分

※フロント+リアカメラの場合

※microSDカードのシステム領域は含まれません

- 最大録画可能時間はあくまで目安の数字となり、録画環境などにより変動します。
- 最大録画可能時間は、常時録画と緊急録画を含めた録画時間の合計です。
※ファイル保存割当 常時録画・・・50% 緊急録画・・・50%
- 緊急録画のファイル数が増え、ファイル保存割当の上限に達すると、緊急録画をおこなうことができなくなります。
必要に応じてファイルを削除、あるいはmicroSDカードの内容をバックアップして、microSDカードのフォーマットをおこなってください。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	●シガーアダプターの接続不良の可能性があります。	●シガーアダプターを一度外してから、再度接続し直してください。また、シガーソケットに確実に差し込まれているかを確認してください。
	●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。	●本機は「-10℃～+60℃」温度環境下で使用できます。
誤作動をする	●本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。	●本機のリセットボタンを押してください。
録画したはずのファイルがない	●常時録画ファイルはmicroSDカードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。	●ファイルを残しておきたい場合は、定期的にバックアップすることをおすすめします。
液晶画面にドット抜けがある	●液晶パネルの特性です。不良ではありません。	—
録画できない	●microSDカードが本体に挿入されていますか？	●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。
	●microSDカードの読み込みエラーが発生していますか？	●microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、別のmicroSDカードでお試しください。 または、電源を切った状態でmicroSDカードの抜き差しをおこなってください。
操作音や音声ガイダンスが鳴動しない	●本体音量がオフになっていませんか？	●設定メニューの「音量」から設定を変更してください。
GPSが受信できない	●GPSユニットは接続されていますか？	●GPSユニットを本機に接続してください。
	●GPS電波が受信しづらい場所を走行していませんか？	●トンネル内やビルの谷間などはGPS電波を受信しづらい場合があります。
	●本機を起動したばかりではありませんか？	●本機を起動した直後はGPS電波を受信しづらい場合があります、しばらく経つから再度確認してください。

トラブルシューティング（つづき）

症状	原因	対処方法
再起動する場合がある	●アイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。	●車両の電圧を確認してください。
信号機表示が消えてしまう	—	●映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また、逆光などの環境によっては信号機表示が確認できない場合があります。その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。 ●信号機表示が確認できることによる事故やトラブルに關しまして、弊社は一切その責任を負いかねます。
緊急録画が頻繁におこなわれる	●Gセンサー感度の設定が適切ではない可能性があります。	●設定メニューの「Gセンサー」から設定を変更してください。
日時表示がずれている	●GPS時間校正がオフになっていませんか？	●設定メニューの「日付/時間」→「GPS時間校正」から設定を変更してください。
他の車載機に影響が出る（テレビが映らない等）	●取付場所はアンテナ、レーダーなどに50cm内に位置していませんか？	●高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。また、ETCアンテナ等から50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。
SDカードエラーが発生する	●定期的にSDカードをフォーマットしていますか？ ●SDカードが正しく挿入されていますか？ ●SDカードが破損している可能性があります。 ●SDカードに異常が発生している可能性があります。	●SDカードをフォーマットしてください。 ●SDカードを正しく挿入し直してください。 ●SDカードを交換してください。 ●パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ●本機を再起動してください。 ※SDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください
フォーマットができない	●SDカードに異常が発生している可能性があります。	●パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ●SDカードを交換してください。 ※SDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください

その他

液晶画面について

- 使用環境や状況により、太陽光や照明等の直接光、反射光がカメラ視野範囲内に映り込むと液晶画面が見えにくくなる場合があります。
- 夜間など暗い環境下や照明の下などでは、実際の色味などが異なる場合があります。
- ルーフ付車の場合は、画面への映り込み軽減のため、シェードを閉めてご使用ください。
- 通常のミラーとの見え方の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさや距離感が異なって見える場合があります。特にカメラ画面（モード）時は、液晶画面に映る車両や障害物が実際の大きさと異なる場合があります。
- 明るいところから暗いところなどへ移動した場合等、急激な明暗の変化時にはノイズが発生する場合がありますが、これはレンズの性質であり、故障ではありません。
- ディスプレイが反射して見えにくい場合は、サンシェードを閉めてください。
- 夜間など暗いところでは、次のような現象が発生することがあります。異常ではありません。
 - ・ 映像の色と実際の色が異なって見える
 - ・ 後続車のライトの高さなどによっては、後続車の周囲が白くぼやけて見える
 - ・ 映像を自動的に調整することにより、特有のちらつきが発生する
- ※ 映像が見えにくい場合や、ちらつきが気になる場合は、液晶オフ画面（モード）に切りかえてください。
- 本体が発熱することがあります。異常ではありません。
- 体調、年齢などにより、ディスプレイに表示される映像に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。焦点が合わせづらいと感じたときは、液晶オフ画面（モード）に切りかえてください。
- 主に同乗者がディスプレイを凝視すると、車酔いを起こすことがあります。

リアカメラについて

- 本製品専用のリアカメラとなります。その他の製品（他社製品含む）に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。
- 本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

SDカードカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。定期的なフォーマット（SDカード内を初期化すること）をお勧めします。

※ SDカードについておよびフォーマットについてはP.8を参照してください

※ ファイル断片化について

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。

そのため、安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをお勧めしています

※ フォーマット手順についてはP.14を参照してください

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※ 事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

SDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所（曲げ折り含む）
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

仕様

品番	SRM-01		
商品名	スマートルームミラー(ドライブレコーダー機能搭載)		
液晶	9.8インチ タッチパネルIPS液晶(静電式)		
記録媒体	16GB Class10 同梱 microSDカード(8GB~128GB/Class10~UHS-II) ※全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません		
レンズ	フロントカメラ	イメージセンサー	200万 1/2.7型CMOS
		視野角(画角)	対角148° 水平118° 垂直69°
		F値	2.2
	リアカメラ	イメージセンサー	200万 1/2.9型CMOS
		視野角(画角)	対角121° 水平101° 垂直54°
		F値	2.2
記録解像度	フロントカメラ	動画	FHD:1920×1080
		静止画	1.3M:1536×864
	リアカメラ	動画	FHD:1920×1080
		静止画	1.3M:1536×864
有効画素数	フロントカメラ	200万	
	リアカメラ	200万	
フレームレート	フロントカメラ	27.5fps	
	リアカメラ	25fps	
ファイル形式	動画	MOV	
	静止画	JPEG	
録画モード	通常録画	ループ録画	
	緊急録画	Gセンサー/手動	
	駐車監視モード	動体検知※1 ※2	
		衝撃感知※3	

※1 動体検知機能はフロントカメラのみ動作します

※2 動体検知機能を動作させるには、常時電源ケーブルが必要です

※3 内蔵バッテリーの電圧が低くなった場合は、動作しない可能性があります

仕様（つづき）

ループ録画設定	1分/2分/3分	
Gセンサー	オフ/低/高	
音声録音	オン/オフ	
内蔵バッテリー	500mAh	
使用電圧	12V/24V	
消費電力	フロントカメラ	最大12W
	リアカメラ	最大1W
寸法	フロントカメラ	約 W275xH74xD18mm
	リアカメラ	約 W52.5xH24xD31.5mm(ステーを含む)
重量	フロントカメラ	約 350g
	リアカメラ	約 18g
動作温度	-10°C~60°C	
保存温度	-20°C~70°C	

※ 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にてご注文ください。

※ 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※ 本機で使用されている画像・イラストはイメージです。実際の製品や画面とは異なる場合があります。

azur

輸入元:株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話…048-970-5027

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00 13:00~17:00

<http://www.innovativesale.co.jp/>

2019.02